

手術・検査前に休薬を要する薬剤(内服薬)一覧(2024年7月現在)

①抗凝固薬

一般名	当院採用医薬品					当院未採用医薬品 (一般名・当院採用の商品名と同一の場合は省略)
	商品名(規格略)	写真	血小板との反応	必要な休薬期間	再開の目安	
アピキサバン	エリキュース錠 (ブリストル・マイヤーズスクイブ)		—			—
エドキサバントシル酸塩水和物	リクシアナOD錠 (第一三共)		—	・低 出血リスク 腎機能に依らず:12時間以上 ・中 出血リスク Cr <sub>e</sub> ≥ 30mL/分 :24時間以上 Cr <sub>e</sub> 15~29mL/分 :36時間以上 ・高 出血リスク 腎機能に依らず:48時間以上	・低、中 出血リスク 術後6~8時間以降 ・高 出血リスク 可能な限り早期 (出血懸念時: 48~72時間以降)	—
リバーロキサバン	イグザレルト錠・OD錠 (バイエル薬品)		—			—
ダビガトランエテキシラート メタンシルホン酸塩	ブラザキサカプセル (日本ベーリンガーインゲルハイム)		—	・低 出血リスク 腎機能に依らず:12時間以上 ・中 出血リスク Cr <sub>e</sub> ≥ 80mL/分 :24時間以上 Cr <sub>e</sub> 50~79mL/分 :36時間以上 Cr <sub>e</sub> 30~49mL/分 :48時間以上 ・高 出血リスク Cr <sub>e</sub> ≥ 80mL/分 :48時間以上 Cr <sub>e</sub> 50~79mL/分 :72時間以上 Cr <sub>e</sub> 30~49mL/分 :96時間以上	・低、中 出血リスク 術後6~8時間以降 ・高 出血リスク 可能な限り早期 (出血懸念時: 48~72時間以降)	—
ワルファリンカリウム	ワーファリン錠 (エーザイ)		—	3~5日	術日夕方もしくは 術翌朝から 維持量で再開	—

②抗血小板薬

一般名	当院採用医薬品					当院未採用医薬品 (一般名・当院採用の商品名と同一の場合は省略)
	商品名(規格略)	写真	血小板との反応	必要な休薬期間	再開の目安	
アスピリン	アスピリン (吉田製薬)		不可逆的	・原則:継続 ・高出血リスク、且つ 血栓リスク低の場合 7日前から休薬を考慮		アスファネート配合錠 イスキア配合錠 ニトギス配合錠 バッサミン配合錠 パファリン配合錠 ファモター配合錠
	バイアスピリン錠 (バイエル薬品)					
アスピリン/ ポノプラザンフマル酸塩	キャプピリン配合錠 (武田薬品工業)					—
アスピリン/ランソプラゾール	タケルダ配合錠 (武田テバ)					—
アスピリン/クロピドグレル硫酸塩	コンプラピン配合錠 (サノフィ)		不可逆的	7~10日		ロレアス配合錠
クロピドグレル硫酸塩	クロピドグレル錠 (日医工)		不可逆的	遅くとも5日前	24~72時間以内 (要負荷投与)	プラビックス錠
チクロピジン塩酸塩	パナルジン錠・細粒 (クリニジェン)		不可逆的	7~10日		—
プラスグレル塩酸塩	エフィエント錠・OD錠 (第一三共)		不可逆的	遅くとも7日前	24~72時間以内 (要負荷投与)	—
チカグレロル	ブリリント錠 (アストラゼネカ)		可逆的	遅くとも3日前		—
シロスタゾール	プレタールOD錠 (大塚製薬)		可逆的	2~4日		コートリズム錠 シロシナミン錠 シロスレット内服ゼリー ホルダゾール錠
	シロスタゾールOD錠 (高田製薬)					
イコサペント酸エチル	エパデールS (持田製薬)		不可逆的	7~10日		エパデールカプセル ソルミラン顆粒状カプセル エパロースカプセル・粒状カプセル
	イコサペント酸エチル粒状カプセル (沢井製薬)					
オメガ-3脂肪酸エチル	ロトリガ粒状カプセル (武田薬品工業)		不可逆的	7~10日		—
	オメガ-3脂肪酸エチル粒状カプセル (武田テバファーマ)					—

※参考資料:

2020年 JCS ガイドライン フォーカスアップデート版、冠動脈疾患患者における抗血栓療法  
2022年 改訂版 非心臓手術における合併心疾患の評価と管理に関するガイドライン  
各薬剤の添付文書

手術・検査前に休薬を要する薬剤(内服薬)一覧(2024年7月現在)

〔参考〕非心臓手術・処置の出血リスク

出血リスク	低	中	高
一般外科領域	ヘルニア形成術、癒痕ヘルニア形成外科手術、胆嚢摘出術、虫垂・結腸切除術、胃・小腸部分切除術、乳房手術、体表手術(膿瘍切開、皮膚小切開手術)	痔核切除術、脾臓摘出術、胃切除術、肥満手術、直腸切除術、甲状腺切除術	肝切除術、脾臓十二指腸切除術
血管外科領域	頸動脈内膜剥離術、下肢動脈バイパス術、下肢動脈内剥離術、胸部・腹部ステントグラフト内挿術(TEVAR・EVAR)、四肢切断術	開腹による腹部大動脈手術	開胸による胸部・胸腹部手術
整形外科領域	手の手術、肩・膝の関節鏡	人工肩関節手術、膝手術(前十字靭帯、骨切り術)、足の手術、高齢者の大腿骨近位部骨折	主要な人工関節手術(股関節、膝関節)、主要な外傷手術(骨盤、長骨)、脊椎手術
泌尿器科領域	膀胱鏡、尿管カテーテル、尿管鏡	前立腺生検、精巣摘除術、包皮環状切除術	根治的腎摘除、腎部分切除、経皮的腎瘻増設術、経皮的碎石術、膀胱切除術、根治的前立腺切除術、経尿道的な前立腺切除術(TURP)、経尿道的な膀胱腫瘍切除術(TURBT)、陰茎切除術、部分精巣摘除術
胸部外科領域	肺楔状切除術、診断目的の胸腔鏡、胸壁切除術	肺葉切除術、肺全摘術、縦隔鏡検査、胸骨切開、縦隔腫瘍切除術	食道切除術、胸膜肺切除術、肺剥皮術
消化管内視鏡	上部消化管内視鏡、下部消化管内視鏡、生検を伴わない超音波内視鏡、カプセル内視鏡、内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)、内視鏡的粘膜生検(超音波内視鏡下穿刺吸引術を除く)、バルーン内視鏡、マーキング(クリップ、高周波、点墨など)、消化管・膵管・胆管ステント留置法(事前の切開手技を伴わない)、内視鏡的乳頭バルーン拡張術	ポリペクトミー(ポリープ切除術)、充実性病変に対する超音波内視鏡下穿刺吸引術、内視鏡的消化管拡張術、内視鏡的粘膜焼灼術、経皮内視鏡的胃瘻増設術、内視鏡的食道・胃静脈瘤治療	アカラシアにおける内視鏡的消化管拡張術、内視鏡的粘膜切除術、内視鏡的粘膜下層剥離術、内視鏡的乳頭括約筋切開術、膵嚢胞病変に対する超音波内視鏡下穿刺吸引術
その他	歯科処置(抜歯、歯周外科手術、膿瘍切開、インプラント挿入)、白内障手術、気管支鏡など	気管支生検、経気管支的針吸引など	脊椎または硬膜外麻酔、腰椎穿刺、脊髄手術、頭蓋内手術、後眼房手術など

2022年 改訂版 非心臓手術における合併心疾患の評価と管理に関するガイドライン、52ページを引用

③その他

一般名	当院採用医薬品					当院未採用医薬品 (一般名・当院採用の商品名と同一の場合は省略)
	商品名(規格略)	写真	血小板との反応	必要な休薬期間	再開の目安	
サルボグレラート塩酸塩	アンプラグ錠 (田辺三菱製薬)		可逆的	1~2日		—
ジピリダモール	ペルサンチン錠 (日本ベーリンガーインゲルハイム)		可逆的	0~1日		—
ジラゼブ塩酸塩水和物	コメリアンコーワ錠 (興和創薬)		可逆的	2~4日		—
トラピジル	ロコルナール錠 (持田製薬)		可逆的	2~4日		—
トリメタジジン塩酸塩	バスタレルF錠 (京都薬品)		可逆的	2~4日		—
ベラプロストナトリウム	プロサイリン錠 (科研製薬)		可逆的	1~2日		ドルナー錠
	ベラプロストNa錠 (沢井製薬)					
リマプロストアルファデクス	ベラスLA錠 (科研製薬)		可逆的	1~2日		ケアロードLA錠
	オパールモン錠 (小野薬品工業)					
	リマプロストアルファデクス錠 (日医工)					プロレナール錠

※参考資料:

周術期管理チームテキスト 第3版(2016年8月発行)

薬局 2017 Vol.68 No.12

各メーカー情報

④経口避妊薬 \* 添付文書に禁忌と明記されている薬剤のみ記載。安静臥床を要しない手術の場合は服用可

一般名	当院採用医薬品				当院未採用医薬品 (一般名・当院採用の商品名と同一の場合は省略)
	商品名(規格略)	写真	必要な休薬期間	再開の目安	
デソゲストレル/ エチニルエストラジオール	マーベロン (オルガノン)		28日	14日	ファボワール錠
レボノルゲストレル/ エチニルエストラジオール	アンジュ (あすか製薬)		28日	14日	トリキュラー錠 ラベルフィュー錠

※参考資料:各薬剤の添付文書

手術・検査前に休薬を要する薬剤(内服薬)一覧(2024年7月現在)

⑤月経困難症治療薬 \*添付文書に禁忌と明記されている薬剤のみ記載。安静臥床を要しない手術の場合は服用可

一般名	当院採用医薬品				当院未採用医薬品 (一般名・当院採用の商品名と同一の場合は省略)
	商品名(規格略)	写真	必要な休薬期間	再開の目安	
ドロスピレノン/ エチニルエストラジオールベータ デクス	ヤーズフレックス配合錠 (バイエル薬品)		28日	14日	—
ノルエチステロン/ エチニルエストラジオール	ルナベル配合錠 (ノーベルファーマ)		28日	14日	フリウエル配合錠
レボノルゲストレル/ エチニルエストラジオール	ジェミーナ配合錠 (ノーベルファーマ)		28日	14日	—

※参考資料:各薬剤の添付文書

⑥骨粗鬆症治療薬

一般名	当院採用医薬品				当院未採用医薬品 (一般名・当院採用の商品名と同一の場合は省略)
	商品名(規格略)	写真	必要な休薬期間	再開の目安	
バゼドキシフェン酢酸塩	ビビアント錠 (ファイザー)		3日 (長期不動状態が見込まれる場合)	完全歩行再開時	—
ラロキシフェン塩酸塩	エビスタ錠 (日本イーライリリー)		3日 (長期不動状態が見込まれる場合)	完全歩行再開時	—

※参考資料:各薬剤の添付文書

⑦SGLT2阻害薬 (全身麻酔の手術時)

一般名	当院採用医薬品				当院未採用医薬品 (一般名・当院採用の商品名と同一の場合は省略)
	商品名(規格略)	写真	必要な休薬期間	再開の目安	
イプラグリフロジン L-プロリン	スーグラ錠 (アステラス)		原則:3日 状況に応じて処方医 (処方診療科)に コンサルテーション		—
エンパグリフロジン	ジャディアンス錠 (日本ベーリンガーインゲルハイム)				—
カナグリフロジン水和物	カナグルOD錠 (第一三共)				—
ダパグリフロジンプロピレン グリコール水和物	フォシーガ錠 (アストラゼネカ)				—
トホグリフロジン水和物	デベルザ錠 (興和創薬)				—
ルセオグリフロジン水和物	ルセフィ錠 (大正製薬)				—
イプラグリフロジン L-プロリン/ シタグリプチンリン酸塩水和物	スーシヤヌ配合錠 (MSD)				—
エンパグリフロジン/リナグリプチン	トラディアンス配合錠 (日本ベーリンガーインゲルハイム)				—
カナグリフロジン水和物/ テネリグリプチン臭化水素酸塩 水和物	カナリア配合錠 (第一三共)				—

※参考資料:SGLT2阻害薬の適正使用に関する Recommendation より引用

手術・検査前に休薬を要する薬剤(内服薬)一覧(2024年7月現在)

⑧ビグアナイド薬 (全身麻酔の手術時)

一般名	当院採用医薬品				当院未採用医薬品 (一般名・当院採用の商品名と同一の場合は省略)
	商品名(規格略)	写真	必要な休薬期間	再開の目安	
ブホルミン	当院未採用	—	2日		ジベトス錠
メトホルミン	メトホルミン塩酸塩錠 (DSファーマプロモ)				グリコラン錠 メトグルコ錠
メトホルミン/アナグリプチン	メトアナ配合錠 (三和化学研究所)				—
メトホルミン/アログリプチン	イニシク配合錠 (帝人ファーマ)				—
メトホルミン/ピオグリタゾン	当院未採用	—			メタクト配合錠
メトホルミン/ビルダグリプチン	エクメット配合錠 (ノバルティスファーマ)				—

※参考資料:各薬剤の添付文書を改変

⑨MAO-B阻害薬 (全身麻酔の手術時)

一般名	当院採用医薬品				当院未採用医薬品 (一般名・当院採用の商品名と同一の場合は省略)
	商品名(規格略)	写真	必要な休薬期間	再開の目安	
サフィナミドメシル酸塩	エクフィナ錠		14日		—
セレギリン塩酸塩	エフピーOD錠				—
ラサギリンメシル酸塩	アジレクト錠				—

※参考資料:麻酔薬および麻酔関連薬使用ガイドライン 第3版 2009-2014 (公益社団法人日本麻酔科学会)